

Builder:
Mstyle house(松代建設工業)

Note:
軽井沢町/T邸
家族構成/2人

上質な寛ぎを叶える

内へと開かれた家



A「外からの視線を気にせず、リラックスできる空間を守るため」お二人が選んだのは、正面に一切窓を設けないという大胆なデザイン。「防犯面でも安心。家に入ったときの印象のギャップはお客様にも好評です」
Bリビングは全面窓にし、室内では圧倒的な開放感を実現。中庭とリビングのタイルの色を連携させてシームレスな空間に。

現在の土地を得ることができ、パートナーを選びをスタート。
その際、懸念したのが軽井沢の土地特有の気候でした。夏は冷涼で過ごしやすいものの、冬の寒さは厳しく、マイナス10℃を下回ることも。湿度の高さも気になる点でした。
そうした軽井沢の厳しい環境を踏まえ、オーナーの求めるテイストを理解したうえで年中快適に過ごせる家を提案してくれたのが、エムスタイルハウスでした。
決め手は、耐震構法SE構法が実現する、大空間を生かした上質な空間づくり。「デザインも、機能性も、予想を超える仕上がり。提案はそのまま、最高の住まいができました」と、お二人そろって笑顔をみせます。

軽井沢の森に抱かれ、静けさをたたえた平屋建ての一軒家。その正面からは一つの窓も見えず、外から中の様子をうかがい知ることはできません。ここは住宅？それともアトリエ？——想像をかきたてられながら足を踏み入れると、待っていたのは中庭をぐるりと囲む間取りの大空間。モントーンでまとめられたリビングに腰を下ろせば、窓の外に高く広がる軽井沢の空や木々のゆらぎをゆったりと感じることができそうです。
プライバシーを守りながら、内から豊かに開かれていく家。そんなイメージのもと、拠点の一つである軽井沢に住居を構えるべく計画をはじめたのは、約1年前のこと。移住希望者が年々増加するこのエリアで幸運にも

正面はあえて窓なし。
中庭をゆったりと囲み
豊かな非日常空間へ

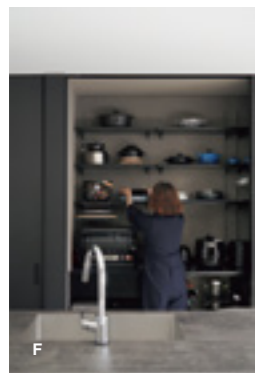


D

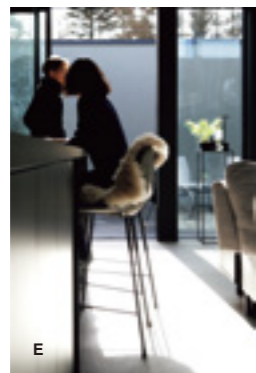


C

C_「たんにモノトーンだけでない上質な空間を、質感にもこだわって実現しました」と設計担当の戸井さん。 D_柱の少ない贅沢な大空間は、耐震構法SE構法ならではの。 E・F_キッチン背後には充実の収納スペース。日中は自然光、夜は間接照明でレストランのような食卓に。



F



E

冬を体感してきたお二人も、「この家は夏も冬も快適。光熱費もとても安いです」と大満足。設計の工夫で自然のエネルギーを生かすパッシブデザインも、エムスタイルハウスの得意分野です。

心地よい朝の目覚め、間接照明で楽しむ夜の時間、庭と星空を眺めながらの極上のバスタイム——と、まさにホテルライクな日常を叶えたお二人。「そうそう、新しく加わった家族も快適そうで、ひと安心です」。そう話す視線の先には、気持ちよさそうに眠る愛犬の姿がありました。

「収納扉の質感、クローゼット棚の金物の色、サニタリーのミラーキャビネットの色にいたるまで、こだわりが行き届き感動のひとつこと。いま、室内のどこを見ても、妥協を感じるものがないんです」

また、リビングにシミュレーションゴルフ用の部屋を設けるという大胆な要望にも、心憎いひと工夫が。「玄関横から出入りできるつくりにしてくださったおかげで、ゴルフバッグの出し入れのストレスなし。こういうきめこまかな配慮が、暮らしやすさにつながっていますね」

デザイン性と快適性の両立は、エネルギー効率にも。軽井沢の

細部まで行き届いた色と質感のこだわりでホテルライクな住まいに

オーナーの第一の願いであり、「最も気に入っているポイントです」と話すのが、白、黒、グレーで統一されたスタイリッシュな空間デザイン。要望を受けて提案されたプランは、お二人も驚くほどの充実度だったとか。

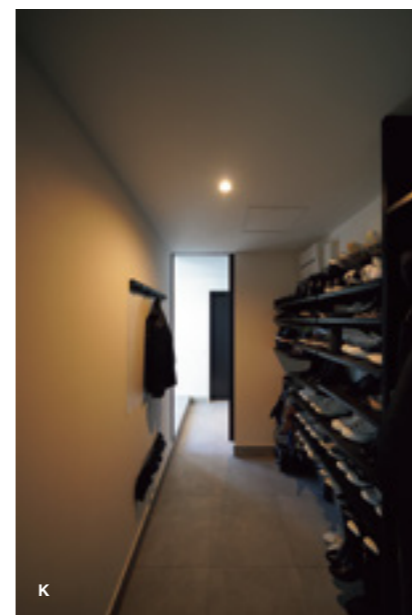


DATA 敷地面積——1554.27㎡ (469.23坪)
 延床面積——114.90㎡ (34.69坪)
 1F面積——114.90㎡ (34.69坪)

工法/耐震構法SE構法 基礎/ベタ基礎 構造材/柱・梁:欧州アカマツ、土台:ヒノキ 断熱材/屋根:高性能硬質ウレタンフォーム100mm、壁:高性能グラスウール100mm+高性能硬質ウレタンフォーム61mm、基礎:高性能硬質ウレタンフォーム100mm+50mm
 主な外装仕上げ/屋根:ガルバリウム鋼板縦ハゼ葺き、外壁:グラナダ吹き付け仕上げ 主な内装仕上げ/天井・壁:ビニールクロス、床:タイル 開口部/断熱サッシ Low-Eトリプルガラス(アルゴンガス入り) キッチン/グラフィテクト ポポラートアイランド キッチン熱源/IHクッキングヒーター バスルーム/LIXIL リデア 暖房の種類/エアコン・床暖房 UA値/0.28



L_「バックせずにスムーズに駐車できるように」、家屋の周囲にゆとりをもたせるレイアウトに。入庫は家の脇を回って後ろから、出庫はそのまま前に出るという画期的なガレージを実現。 M_屋根には最大限の太陽光パネルを載せて、中庭の絶妙な配置で、自然光をたっぷりと感じられる。「賃貸マンションに暮らしていたときよりも光熱費が減りました」 N_中庭から見た室内。「これだけ窓があっても人目を気にせずリラックスできるのは、外から見えない構造のおかげです」



G_当初からの希望だった磁器タイルの床には、滑りにくい素材を選んでいる。「老年の保護犬にとっても歩きやすく、安心です」 H_ゆったり広々としたサンタリースペースには、ホテルのようなラグジュアリー感が漂う。テイストを統一した収納棚を造作するなど、見た目だけでなく機能性や収納力にもこだわった。 I_ほどよい広さで安心感をもたせた寝室の横には、「収納しやすく美しい」ウォークイン・クローゼットが。 J_お二人共通の趣味を取り入れたシミュレーションゴルフ専用ルーム。「現在はもっぱら、愛犬の居場所になっています」 K_玄関からつながるシューズクローゼットも細部までモノトーンでまとめてスタイリッシュに。



Owner:
Tさん

Q1. 家づくりで一番大切にされたことは?

A_ ブライバシーを守り、日常で非日常を感じられるような統一感あるデザイン。

Q2. こうしておいてよかった、と思ったことは?

A_ デザイン性と防犯を両立した、外に窓を設けない基本設計。

Q3. このビルダーさんに頼んでよかったことは?

A_ 私たちが気づかない細部まで配慮し、常に想像を超えた提案をしてくれた点。高い断熱性能を実現し、一年中快適に過ごせる点。



Builder:
設計担当/戸井 達弥さん

Q1. この家のコンセプト、ポイントは?

A_ 人目を気にせずリラックスできる大空間を確保しながら、上質かつ開放感にあふれたデザイン。

Q2. この家の見どころを3つに絞るなら。

A_ ①室内から中庭までを見渡せる間取り②質感やデザインのトータルコーディネート③デザイン性と暮らしやすさを両立させたプラン。

Q3. 家づくりで一番大切にしていることは?

A_ お施主様のご要望に寄り添い、期待を超えるようなご提案を行うこと。